

# 令和4年度の活動報告

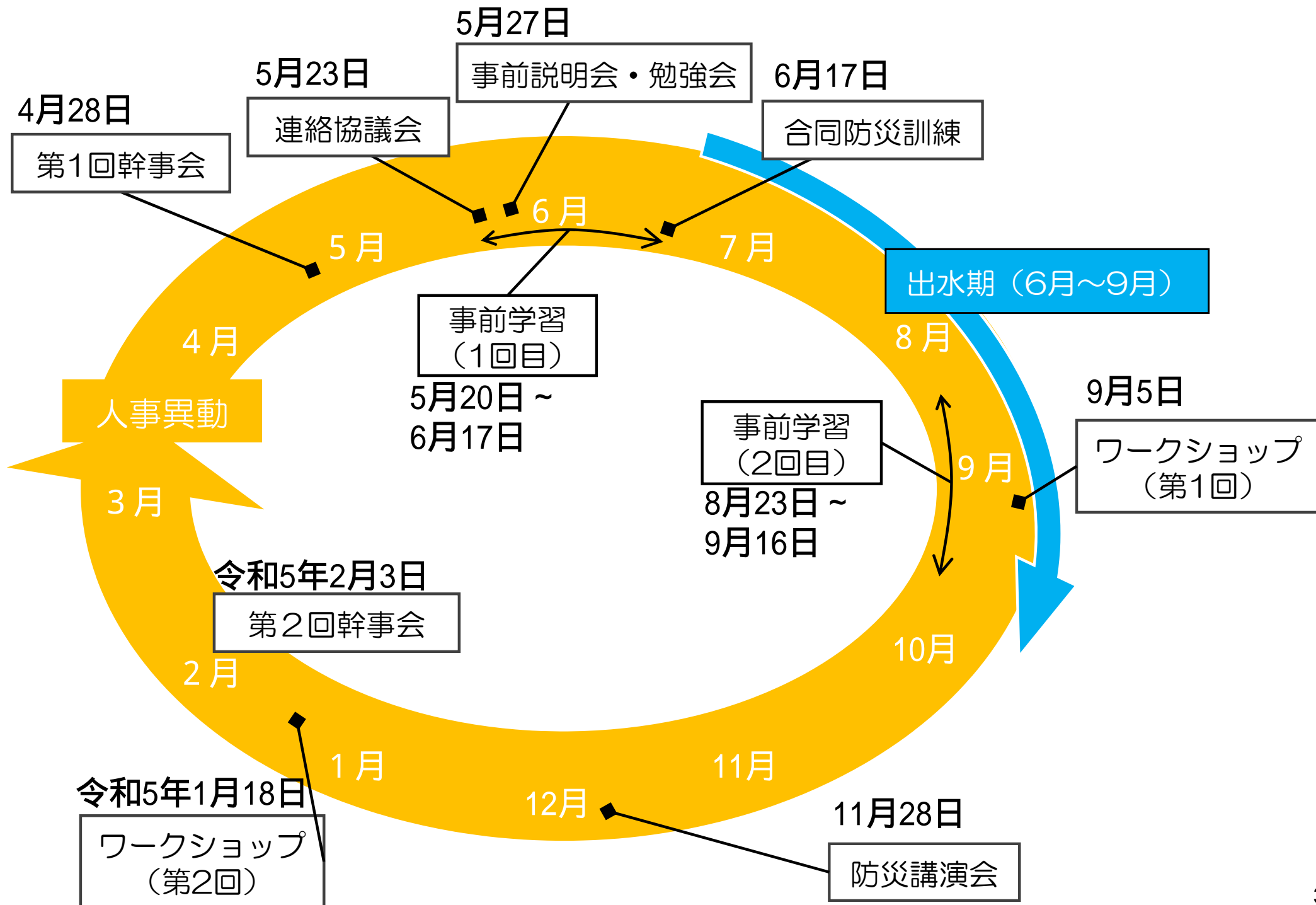
# これまでの協議会の取組み(1/2) (H27～R4年度)

規約項目	実施内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(1) 危機管理に係る事項	準備会・第1回幹事会	7/3	5/24	5/18	5/30
	連絡協議会	10/5	6/6	6/15	6/19
	第2回幹事会	10/5	9/29	-	2/19
	第3回幹事会	1/14	1/10	-	-
(2) 防災業務計画や地域防災計画の共有	更新情報共有	- (更新なし)	地域防災計画の記載内容の共有等	- (更新なし)	- (更新なし)
(3) 防災訓練の実施	出水期前訓練	-	-	学習型方式 高山市(5/18)	学習型方式 飛騨市(5/30)
	合同防災訓練	学習型方式 高山市(11/20)	学習型方式 飛騨市(11/9)	ロール プレイング方式 白川村(12/20)	ロール プレイング方式 高山市(11/26)
(4) 防災意識向上に関する活動	防災講習会 ワークショップ	防災講習会 飛騨市(11/2)	-	-	-
(5) 連携マニュアルの更新	本編	原案作成	更新	更新	更新
	巻末資料	原案作成	更新	更新	更新
	タイムライン	原案作成	更新	更新	更新
(6) その他の活動	勉強会 事前学習	勉強会	勉強会	勉強会	勉強会

# これまでの協議会の取組み(2/2)(R1～R4年度)

規約項目	実施内容	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
(1) 危機管理に係る事項	準備会・第1回幹事会	5/27	6/23 (web会議)	6/2 (web会議)	4/28 (web会議)
	連絡協議会	6/19	7/27 (書面開催)	6/9 (書面開催)	5/23 (web会議)
	第2回幹事会	2/18	2/15 (web会議)	2/28 (web会議)	2/3 (web会議)
(2) 防災業務計画や地域防災計画の共有	更新情報共有	- (実施なし)	- (実施なし)	- (実施なし)	- (実施なし)
(3) 防災訓練の実施	出水期前訓練	学習型方式 高山市(5/27)	資料配付回答方式 (6/29資料送付)	資料配付回答方式 (6/21資料送付)	学習型・ロールプレイング方式 web(6/17)
	合同防災訓練	ロールプレイング方式 飛騨市(12/12)	ロールプレイング方式 白川村(12/1)	学習型方式 (1/20) 初動対応のみ	
(4) 防災意識向上に関する活動	防災講習会 ワークショップ	防災講習会 高山市(8/7)	-	ワークショップの 事前準備	・高山市長倉地区ワークショップ(第1回:9/5、第2回1/18) ・防災講演会(11/28)
(5) 連携マニュアルの更新	本編	更新	更新	- (更新なし)	- (更新なし)
	巻末資料	更新	更新	更新	- (更新なし)
	タイムライン	更新	更新	- (更新なし)	- (更新なし)
(6) その他の活動	勉強会 事前学習	勉強会 事前学習の検討	勉強会 事前学習の検討	勉強会 事前学習の試行	勉強会 事前学習の試行

# 令和4年度に実施した年間スケジュール



# 1. 危機管理に係る事項 第1回幹事会

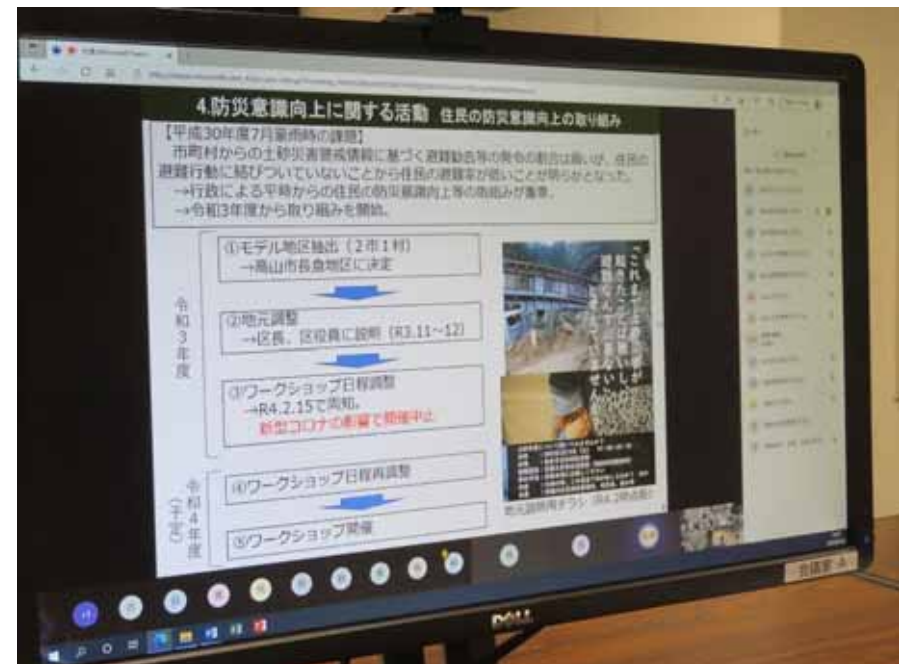
## 第1回幹事会

- ・ 時期 令和4年4月28日（木）
- ・ 内容 令和3年度の活動報告、令和4年度の活動計画（案）について（協議会・幹事会、合同防災訓練、防災講演会、事前学習など）
- ・ 会議方法 WEB方式で実施
- ・ 意見交換内容

長倉地区ワークショップの取り組みに各機関から見学要望があった。事務局より連携マニュアル、令和4年度の活動計画（案）等について、修正等のご意見あれば事務局まで連絡いただきたい旨依頼した。



Web方式による実施状況（参加者の状況）



Web方式による実施状況（画面共有の状況）

# 1. 危機管理に係る事項 連絡協議会

## 連絡協議会

- ・ 時期 令和4年5月23日（月）
- ・ 内容 令和3年度の活動報告、令和4年度の活動計画（案）について
- ・ 会議方法 WEB方式で実施
- ・ 意見交換内容

【岐阜県】県の浸水想定区域図を作成した。飛騨市では狭窄部が多く、宮川では浸水想定高さが10mを超えるところもあり、住民避難などの対応について相談を受けた。こういった状況になった場合、市町村の総合応援協定や、中部9県1市災害応援に関する協定で対応させて頂く。

【飛騨農林事務所】山地からの土砂流出を防ぐ、荒れない山づくり、森林整備を進めながら主幹施設を整備し、下流に被害が及ばない山づくりを始めました。



Web方式による実施状況（参加者の状況）

## 第2回幹事会

- ・ 時期 令和5年2月3日（金）
- ・ 内容 令和4年度の活動報告、令和5年度の活動計画(案)について
- ・ 会議方法 WEB方式

事務局より、令和5年度の訓練方針の説明を行った。概ね了解を受けたが、首長の拘束時間が短くなるように配慮いただきたいとの意見を受けた。

事務局より、地域防災力向上に関するアンケート（令和5年度のワークショップの候補地等について）の記入の依頼を行った。

## 2. 防災業務計画や地域防災計画の共有

令和4年度は更新項目はなし

# 3. 防災訓練の実施結果(1/3)

令和4年度はWebにより、関係機関の防災担当者が合同で、以下を目的にした訓練を実施した。

- ① 関係者の「顔の見える関係」を維持し、知識醸成(防災対応能力の向上)を図る。
- ② 大規模土砂災害時における連携マニュアルに基づく関係機関の情報共有対応の確認・検証を行う。

## 合同防災訓練日時・場所

- ・日時：令和4年6月17日（金）
- ・場所：各機関の会議室等（Web会議方式）  
5月27日（金）に、事前説明会  
（ステージ0の学習型訓練 含む）を実施

## 想定の大規模災害現象

想定した災害は台風接近に伴う豪雨 豪雨に伴い下記の土砂災害が発生

- 河道閉塞(高山市) 大規模地すべり(飛騨市)
- 集落孤立(白川村)

機関	参加部署	人数
高山市		4名
飛騨市		5名
白川村		4名
岐阜県	防災課	1名
	砂防課	2名
	飛騨県事務所	3名
	飛騨農林事務所	2名
	高山土木事務所	6名
林野庁	古川土木事務所	4名
	中部森林管理局 飛騨森林管理署	1名
国土交通省	中部地方整備局 高山国道事務所	3名
	北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所	4名
	合計	39名





# 3. 防災訓練の実施結果(2/3)

## 訓練項目(事前説明会時)

ステージ0 気象状況に伴う危機管理体制構築・警戒避難対応

## 訓練項目(合同防災訓練時)

ステージ1 土砂災害発生・初動対応ステージ  
ホットラインによる情報共有、土砂災害覚知後の対応

ステージ2 国交省の市村、岐阜県への支援対応(TEC-FORCE)

ステージ3 連絡調整会議(現地対策本部) 土砂災害緊急情報の  
事前説明等

## 訓練方式(学習型、ロールプレイング)の実施イメージ

### 学習型形式(Web会議)

ファシリテーター  
画面を通じて  
状況付与し  
想定される対応  
等を質問



プレイヤー  
想定される対応等を口頭で回答



プレイヤー  
想定される対応等を口頭で回答



プレイヤー  
想定される対応等を口頭で回答

### ロールプレイング形式(Web会議)

- ・ホットライン(3首長、古川土木事務所長、神通川水系砂防事務所長)
- ・連絡調整会議(連絡協議会幹事)

WEBでホットライン  
や連絡調整会議を実施



プレイヤー(国・県・市村等)  
各段階で必要な事項を共有・伝達・調整

### 3. 防災訓練の実施結果(3/3) 課題と対応方針案

R4訓練の課題・確認事項など	今後の対応方針(案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1機関に対する設問が少ない。</li> <li>● 条件付与者からの指示で動いていたので、リアルタイム感が感じられなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リアルタイムかつ各機関が同時に対応出来る <b>ロールプレイング方式</b>で実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● WEBで訓練を行うと細かいやりとりができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な対応を確認するため、<b>対面方式</b>で実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 担当者が毎年異動するため学習型も希望する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年度当初のプレ訓練は<b>学習型方式</b>で実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民がどのように避難すれば良いか、それに繋がる情報提供の仕方などを、もう少し詰めていけば良いと感じた。</li> <li>● 工事の進捗状況をどのように住民に伝えていくのかが課題になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習型方式で<b>応急対策を踏まえた住民避難対応</b>を実施</li> <li>● ロールプレイング方式で、<b>住民説明会対応等</b>を実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地すべりの兆候確認を行った時点で、県から市村への助言（ホットライン）を行うのが自然な流れであると感じた。</li> <li>● ホットラインは「緊急調査（河道閉塞）開始時点」より以前の、避難を必要とするタイミングに行うのが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロールプレイング方式で、<b>ホットライン</b>を実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模土砂災害時は道路の被災状況・復旧状況の共有も重要な情報のため、道路管理者との情報共有部分も訓練にあった方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロールプレイング方式で、<b>道路寸断箇所等の応急対策、情報共有等</b>を実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訓練にともなって、連携マニュアルの確認・検証を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特に更新が必要な箇所は見られなかったため、対応事項はない</li> </ul>

## 4. 防災意識向上に関する活動(地域防災力向上に係る取組方針)

市町村からの避難指示等の発令がされていても、地域の方々の避難行動に結びついていないことが明らかとなったため、平時からの防災意識向上等の取組みがより重要となっている。

### 土砂災害の減災に向けた“あなたの行動”

#### 地域の方々

地域の危険性を知り、  
協力して「地区防災計画づくり」  
地域で「声かけ」一緒に避難  
避難に助けがいる人には地域で手助け

「相手(土砂災害)を知る！」  
「地域」「行政」「専門家」連携の向上

#### 行政

土砂災害対策工事の推進  
地域と一緒に勉強会開催  
福祉と防災を合わせて推進

地域に入る防災業務経験者・建設業界  
土砂災害警戒情報などを地域の避難の判断に利用できる情報に

#### 専門家

地域の取組に  
専門家も協力、気軽に相談



# 4. 防災意識向上に関する活動 (第2回上宝町長倉地区土砂災害懇話会)

令和4年度 第2回上宝町長倉地区土砂災害懇話会

日時 : 令和5年1月18日(水) 19:00~20:30

会場 : 高山市上宝町長倉 長倉多目的研修会館

## 実施内容

・わが家の危険地図作成、わが家の避難シート作成

参加者 長倉地区及び周辺地区住民15名

講師 京都大学防災研究所附属

流域災害研究センター 宮田 秀介 准教授

参加機関 : 高山市(危機管理課、上宝支所)

古川土木事務所、神通川水系砂防事務所

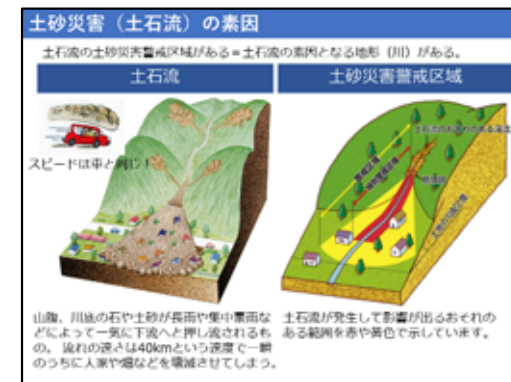
見学機関 : NPO神通砂防

## 主な意見(住民アンケート)

- ・自分の家は危険な場所にあると思った。
- ・地図に色分けして危険な場所を入れるだけで逃げるのがよくわかった。
- ・早期に避難することの重要性を認識。
- ・危険が迫ったときを書くと臨場感が出て、より逃げるタイミングがわかったように思う。



宮田先生の土砂災害リスク説明



説明用スライド

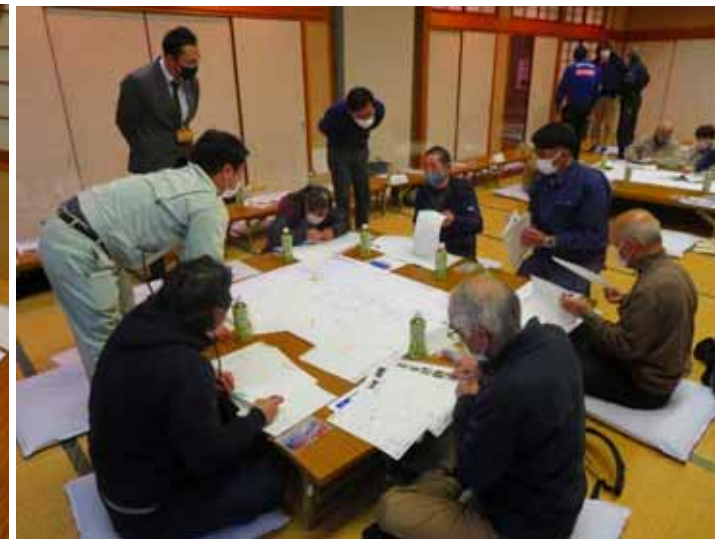
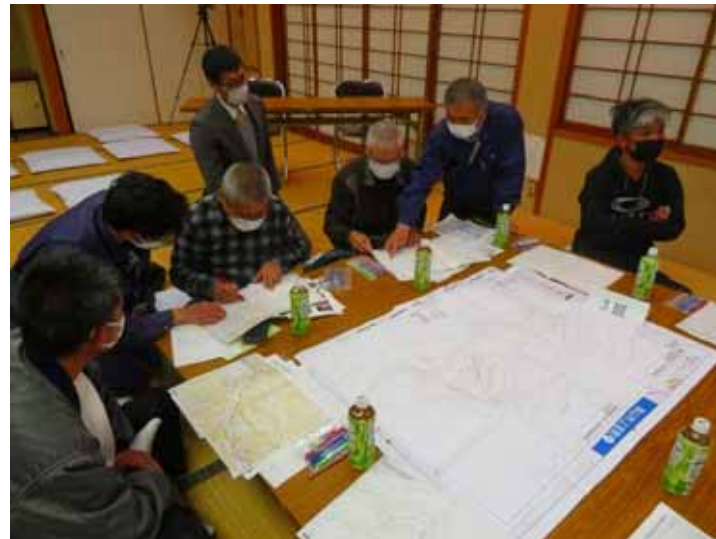
# 4. 防災意識向上に関する活動 (第2回上宝町長倉地区土砂災害懇話会)

<わが家の危険地図作成>  
 長倉地区の地図に自宅を記載し、  
 ・自宅が含まれるがけ崩れ及び  
 土石流の土砂災害警戒区域等を  
 記載

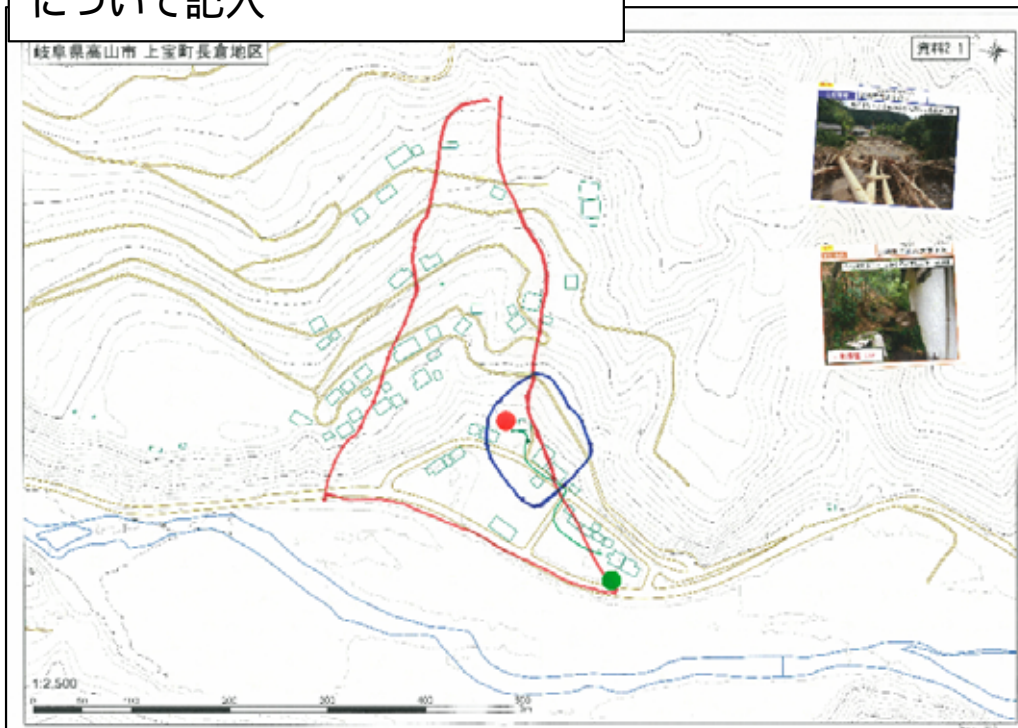
・避難ルートを記載  
 起こりうる災害イメージの写真  
 シールを貼り付け。

<わが家の避難シート作成>

・避難情報の入手手段  
 ・避難のタイミングや避難場所  
 ・避難方法  
 ・危険が迫った時はどうするか  
 について記入



グループワーク実施状況



確認!	判断材料の入手 (何が危険? 大雨や台風の時にも確認?) テレビ、防災無線
いつ?	逃げ時 (何がどうなったら?) 警戒レベルが 2 段階以上上昇した時
どこに?	避難先 (どこに? どのルートで?) 原 (閉る! 時) 長倉新到会館 夜 (閉る! 時) 王倉研修会館
どのように?	避難する方法 (だれと? 歩いて? 車で?) 原 (閉る! 時) 車で行く、徒歩で 夜 (閉る! 時) 歩いて行く、徒歩で
危険が迫ったとき	家の入り口を閉める
(その他、メモ)	

作成頂いた「わが家の危険地図」「わが家の避難シート」の一例

# 4. 防災意識向上に関する活動 (災害対応経験者等による防災講演会)

## 概要

日時 : 令和4年11月28日(月) 14:00 ~ 16:00

会場 : 飛騨総合庁舎3F 大会議室

### 講演議事 :

- (1) 近年の大規模土砂災害について 砂防フロンティア
- (2) 奥田洞谷における砂防事業と警戒避難体制について  
岐阜県 砂防課 技術主査 橋本章氏
- (3) 紀伊半島大水害の対応と復旧・復興について  
奈良県十津川村 建設課 課長 鎌塚康史氏

## 参加機関

高山市	5名	古川土木事務所	1名	
飛騨市	2名	飛騨森林管理署	1名	
岐阜県 砂防課	1名	高山国道事務所	1名	
飛騨県事務所	2名	NPO法人 神通砂防	1名	
飛騨農林事務所	1名	TJSSE	3名	
高山土木事務所	1名	神通川水系砂防事務所	4名	
			参加者合計	23名

## アンケート結果

(次年度以降に取り上げて欲しいテーマ)

■今後の防災講演会への意見としては、継続実施を望む肯定的な意見が多く、特に災害対応の実体験に基づく内容へのニーズが多かった。

以下、アンケート本文

- 雪害、融雪害（高山市）
- 今回の十津川村の事例のように、全国の大災害時の対応等について学べるとよい。（岐阜県砂防課）
- 継続的に防災講演会を開催してもらいたい。（立山・神通砂防スペシャルエンジニア）
- 素晴らしい内容でしたので、早い時期の開催を望みます。
- 大変参考になりました。もっと、たくさんの防災関係者の方が参加出来ればよかったと思う。

後日、講演会DVDを関係機関の皆さまにお渡ししました。

## 講演会実施状況



講師: 十津川村建設課 鎌塚氏



講師: 岐阜県砂防課 橋本氏



開会挨拶: 高山市 西倉副市長



開催状況

# 5. 連携マニュアルの更新

令和4年度は更新項目なし

## 6. その他の活動 事前学習

### 事前学習の試行結果概要

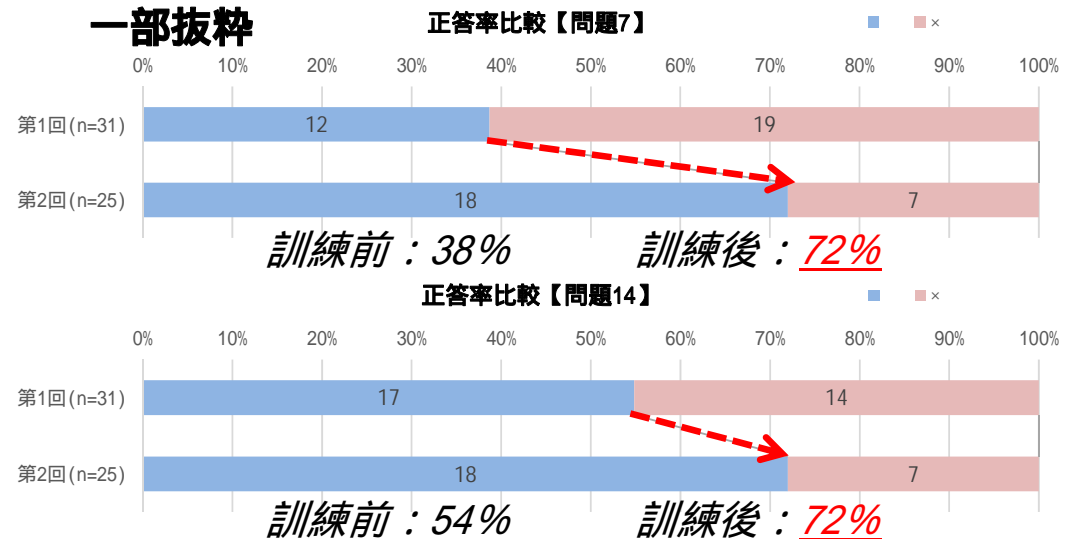
**実施期間:** 【第1回:訓練前】令和4年5月20日～6月17日 【第2回:訓練後】令和4年8月23日～9月16日  
**実施方式:** 過年度に構築したwebサイト(学びばこ)を用いた学習ツールを活用し、協議会構成員が所属組織の自席にて危機管理対応や警戒避難対応、連携対応等について学習する。  
**問題形式:** 択一形式(設問 解答および解説で1セット)  
**問題数:** 20問  
**学習内容:** 連携マニュアルに関連する内容、土砂災害に関する基礎知識など

### 訓練前後の正答率の変化(第1回と第2回の比較)

**問題7 【河道閉塞に関する緊急調査】** 誤っているものを1つ選択せよ。  
河道閉塞(天然ダム)に関して、国土交通省が緊急調査を行う目安は、河道閉塞の高さが概ね20m以上であって、概ね10戸以上の人家に被害が想定される場合である。  
緊急調査の要件を満たす大規模な河道閉塞(天然ダム)に関して、緊急調査により得られた土砂災害が想定される土地の区域及び時期に関する情報を、土砂災害緊急情報という。  
**国土交通省が緊急調査の着手または終了時には、あらかじめ土地の区域を管轄する市町村長にその旨を通知する。 <誤り>**

**問題14 【警戒避難に関する助言】** 誤っているものを1つ選択せよ。  
災害対策基本法に基づき、市町村は、避難勧告等の発令や屋内での退避などの安全確保措置を指示しようとする場合に、国や県に助言を求めることができる。  
**災害対策基本法に基づき、土砂災害は突発的に発生するケースがあり、避難勧告等の解除の判断が非常に難しいため、避難勧告等の解除に関する事項について、市町村は、国土交通省や県に助言を求めることができる。 <誤り>**  
助言を求められた国や県は、保有するリアルタイムの情報の提供や災害に関する専門的知見等から助言を行うことが有効である。

### 一部抜粋



上記の緊急調査対応や警戒避難の助言対応のほか、「緊急調査に係る連携対応」や「リエゾン派遣制度」など、特に合同防災訓練で主要項目とした事項において、訓練後の正答率が向上していた。



# 6. その他の活動 勉強会

## 概要

- 日時 : 令和4年5月27日(金) 13:00~14:00
- 形式 : 合同防災訓練の事前説明会と同時開催(web形式)
- 勉強会内容「大規模土砂災害の特徴と対応」
- 講師 : (一財)砂防フロンティア整備推進機構 酒谷幸彦
1. 近年の土砂災害発生状況
  2. 大規模土砂災害について
  3. 土砂災害防止法に基づく緊急調査・緊急情報
  4. 大規模土砂災害時の支援(TEC-FORCE)

## 参加機関

高山市、飛騨市、白川村、  
 岐阜県(防災課、砂防課、飛騨県事務所、飛騨農林事務所、  
 高山土木事務所、古川土木事務所)、  
 林野庁(飛騨森林管理署)、  
 国交省(高山国道事務所、神通川水系砂防事務所)

## 勉強会資料の例

### 大規模土砂災害とは

地震・豪雨・火山噴火等による土砂災害であって、

- 大規模な土石流、地すべり等 ■天然ダム(河道閉塞)のように現象が進行性のもの
- 同時多発的に発生する土砂災害
- 火山噴火による火砕流・溶岩流・火山泥流等の大規模土砂流出やそれに伴い発生する大規模な天然ダム など

対応に高度な技術を要するため通常の土砂災害に対する体制では限界があり、社会的な影響が甚大又は被害が広範囲に及ぶおそれがあるものなど国の役割が重要なるものをいう。

### TEC-FORCE(現地情報連絡班・リエゾン)の派遣

#### 情報連絡員(リエゾン)

「災害時の迅速かつ的確な実施」「市区町村への支援の適切な実施」に資することを目的として、国から県や市町村の災害対策本部等に派遣する情報連絡員。

(リエゾンとは「組織間の連絡、連携」という意味のフランス語:Liaison)

#### 情報連絡員(リエゾン)の役割

災害情報等を収集し北陸地方整備局災害対策本部等への報告にあたること。市町村に新たな資料作成を求めることは行わない。

#### 【役割】

- ①被災状況等の情報収集
  - ・災害情報、一般被害
  - ・公共土木施設被害
  - ・現地の状況(交通規制)
  - ・現地気象状況など
- ②北陸地方整備局との連絡窓口
- ③その他、特に重要と思われる情報の収集・提供等

## 勉強会実施状況

